



# 学校だより

令和2年1月31日

横浜市立洋光台第三小学校

校長 金澤 智美

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai3/>

## ともだち

副校長 沖 なおみ

今週半ばまでは気温が上がらず、空気も冷え、校内でも寒さにともなう会話が聞こえていましたが、2月4日には、二十四節気の「立春」、暦の上では、春を迎えようとしています。

暦の上での節目を迎えるこの頃、子どもたちは、次年度を意識して学習を進めていきます。先を見つめ、目標をもって取り組んでいくことは、学校生活の中でとても大切な姿勢です。また同時に、これまでの生活や学習から、成果や課題を振り返っていくことも大切な学習になります。さて、その振り返りの中で、こんなつぶやきをしている児童がいました。「一人でもがんばったけど、友達とも、いっぱい一緒にやって、楽しかった。」

気付いたのは、『自分の周りには友達がいて、一緒に学んだ』ということです。

先日の朝会では、「友達になった日」という歌の歌詞を紹介しました。仲良しの友達と喧嘩をしてしまうかもしれませんが、心をつないだ友達になる歌です。早速、授業で「歌ってみたい」という声があったと聞き、子どもたちの関心をうれしく思います。

人には得手不得手があり、体を動かすのが得意な子もいれば、話すのが上手な子もいる、本を読むのが好きな子もいれば、歌を歌うのが好きな子もいます。つまり、いろんな友達がいてその中に自分もいること、そして、友達と一緒に学んだ「仲間」であることを、これからも忘れないでほしいと思います。

1月には、「学校へ行こう週間」があり、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様に子どもたちの日頃の様子をご参観いただきました。皆様のあたたかい眼差しに、心から感謝申し上げます。また、学校評価にもご協力くださり、ありがとうございました。今後とも、どうか学校教育にご協力ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。